

室生ダム



室生ダムの役割

1. 洪水時には、一定量以上の流量の水を貯水池に貯め込み、下流の流量を減らすことで、下流を洪水の被害から守ります。

室生ダムは、下流の宇陀川のみならず、名張川、木津川、淀川沿川に至るまで、青蓮寺ダムや比奈知ダムなどのダムとともに機能することで、下流を洪水の被害から防ぐ役割を担っています。

室生ダムでは、最大毎秒300m³を放流し、それより大きな流量はダムに一時的に貯め込むこととしています。

2. 普段は、下流に影響のない範囲で水を貯め込み、河川の流量が少ない時に水を補給します。

① 宇陀川下流沿岸の農地(348ha)の既得用水として、鹿高井堰地点において最大2.3m³/sを確保するため、河川流量が少ない時はダムから補給を行います。また、下流河川的环境保全等のための流量を確保します。

② 室生ダム貯水池にある初瀬取水施設から最大1.6m³/sを取水し初瀬水路により奈良県桜井浄水場の取り入れ施設まで導水します。桜井浄水場で浄化された水は、奈良県営水道により大和野の各都市に供給されています。

3. 水力発電を行い、エネルギーの有効利用を行っています。

毎秒最大1.8m³の水を使って水力発電を行い、ダム管理所等で必要な電気として使用しています。また、余った電力は関西電力株式会社に売電しています。

淀川流域図



室生ダム下流域



▼川水門のダム放流



▼鹿高井堰



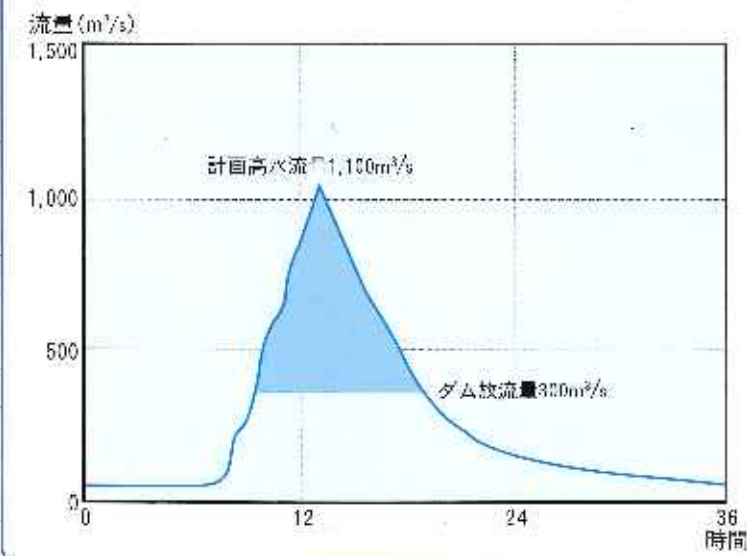
▼室生路橋上流河道



▼初瀬取水施設



▼発電所水車と発電機



室生ダムの水が送られる地域



室生ダムの概要

計画決定等の年月日

基本計画決定	S41.7.19
基本計画決定	S47.9.19(変更)
実施方針指示	S44.5.2
実施方針指示	S49.1.28(変更)
実施方針指示(初瀬水路)	S49.1.31(変更)
実施計画認可	S44.9.17
実施計画認可	S49.3.23(変更)
管理方針指示	S49.3.23
管理方針指示	H4.7.13(変更)
管理規程認可	S49.4.10
管理規程認可	H11.3.31(変更)

水没補償

水没戸数	19戸
宅地	170a
圧加	2,300a
山林	15,600a

ダムのあゆみ

昭和41年7月	水資源開発基本計画が閣議決定
昭和44年9月	ダム建設工事開始
昭和49年3月	ダム建設工事完了
昭和49年4月	ダム管理開始
昭和61年4月	室生ダム発電所が発電開始
平成11年3月	洪水調節方法変更
平成13年3月	水質保全ダム完成

室生ダムは、青蓮寺ダム・比奈知ダムと同様に淀川水系木津川上流総合開発の一環として、名張川支川宇陀川中流部に建設された多目的ダムで、昭和28年度から建設省により調査が進められました。昭和41年水資源開発公団事業に加えられ、昭和44年9月工事に着手し、昭和49年3月完了しました。

洪水調節

ダム地点における計画高水流量1,100m³/sのうち800m³/sをダムに貯め、300m³/sをダムから放流します。

河川環境の保全等

宇陀川沿岸の農地(348ha)の既得用水として、下流鹿高井堰地点において最大2.3m³/sを確保するための補給を行うと共に、下流河川の環境保全等のための流量を確保します。

水道用水

大和平野の各都市の水道用水として、貯水池から初瀬水路を経て、最大1.6m³/sを供給します。

管理用水力発電

(昭和61年3月完成)

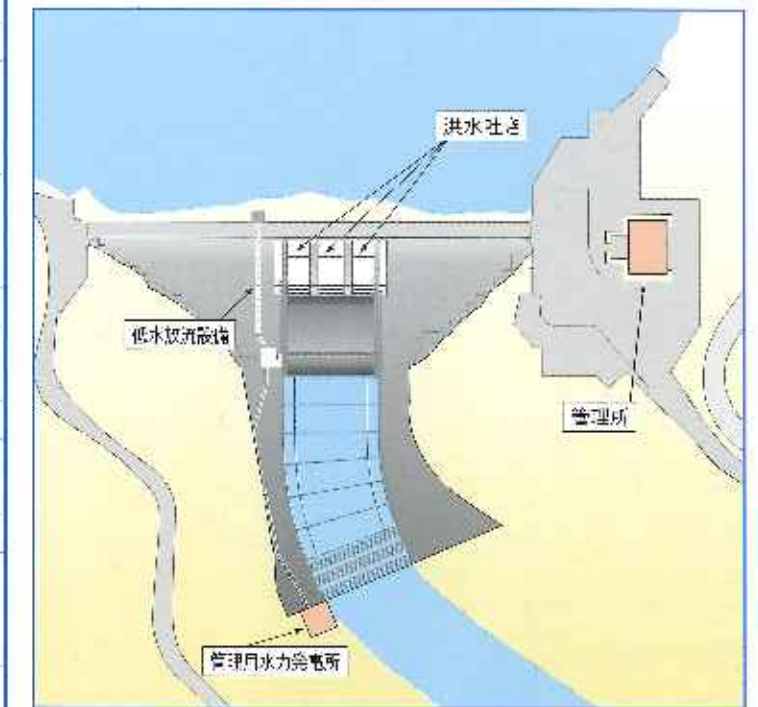
計画概要	最大使用水量 1.8m ³ /s
	有効落差 43.80m
	最大出力 560KW

室生川から導水

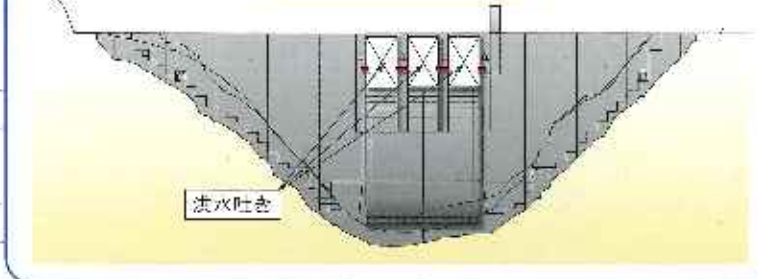
水資源のより有効な利用をはかるために宇陀川の他、室生川からも貯留しています。(島谷水路による)

河川名	淀川水系名張川支川宇陀川
位置	奈良県宇陀市室生区大野
集水面積	直接136km ² /間接33km ² /計169km ²
地質	安山火山岩
形式	重力式コンクリートダム
堤高	63.5m
堤頂長	175.0m
堤体積	153,300m ³
満水面積	1.05km ²
総貯水量	16,900,000m ³
有効貯水量	14,300,000m ³
放水吐き	ラジアルゲート 3門 最大放流量 1,600m ³ /s
低水放流設備	表面取水ゲート 直線3段ローラーゲート 1門 ホロージェットバルブ 1門 最大放流量 12m ³ /s
初瀬水路	4R標準円錐形 R=900m 延長 3,500m
島谷水路	4R標準円錐形 R=900m 延長 1,900m
総事業費	97億5千万円

ダム平面図



ダム下流面図



雨量・水位観測施設配置図

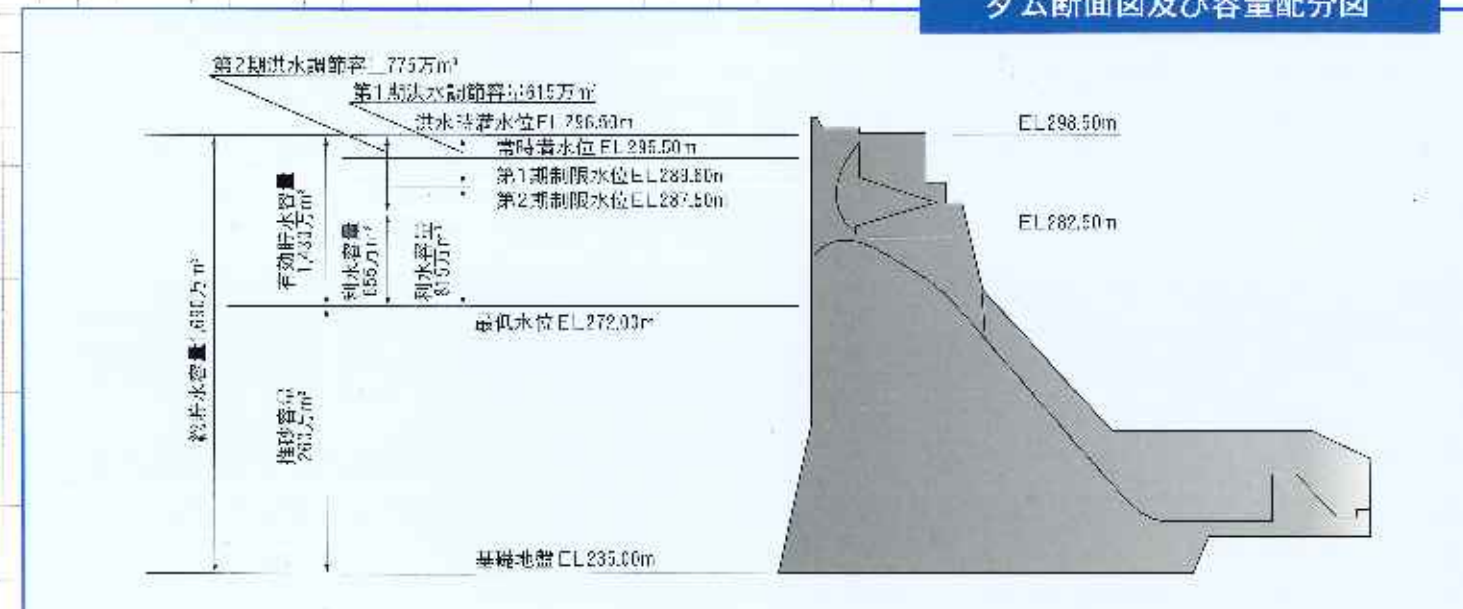


警報施設設置図



ダム上流面

ダム断面図及び容量配分図



室生湖周辺

概要

室生湖周辺は、室生赤目青山国定公園に指定されており、豊かな自然のある風光明媚な地域です。また、交通の便が良く大野寺、室生寺などの歴史的文化遺産が周囲にあり、東海自然歩道のコースも設定されている事から、行楽・観光に訪れる人々が多くいます。

一方上流域沿川では古くから農地開発が進み、また、近年は榛原区天満台に見られる住宅開発も行われています。

このように室生ダム湖周辺は、豊かな自然、歴史的な文化遺産や新興ニュータウンなどの特徴のある地域となっています。

宇陀川浄化センター (奈良県流域下水道センター)

公共用水域の保全と生活環境の改善を目指して、高度処理のできる処理場として計画され、昭和52年4月に榛原町の一部で供用開始され、平成元年に栗田野町、平成8年には宇陀町で供用開始されました。



濡れ地蔵

昔、背後の山から水をひいてこの地蔵菩薩に注いでいたというので、こう呼ばれています。鎌倉時代に造られた、とされています。

秋から春のダム貯水水位が高いときには水没してしまいますが、春から秋の水位が下がった時には現れます。



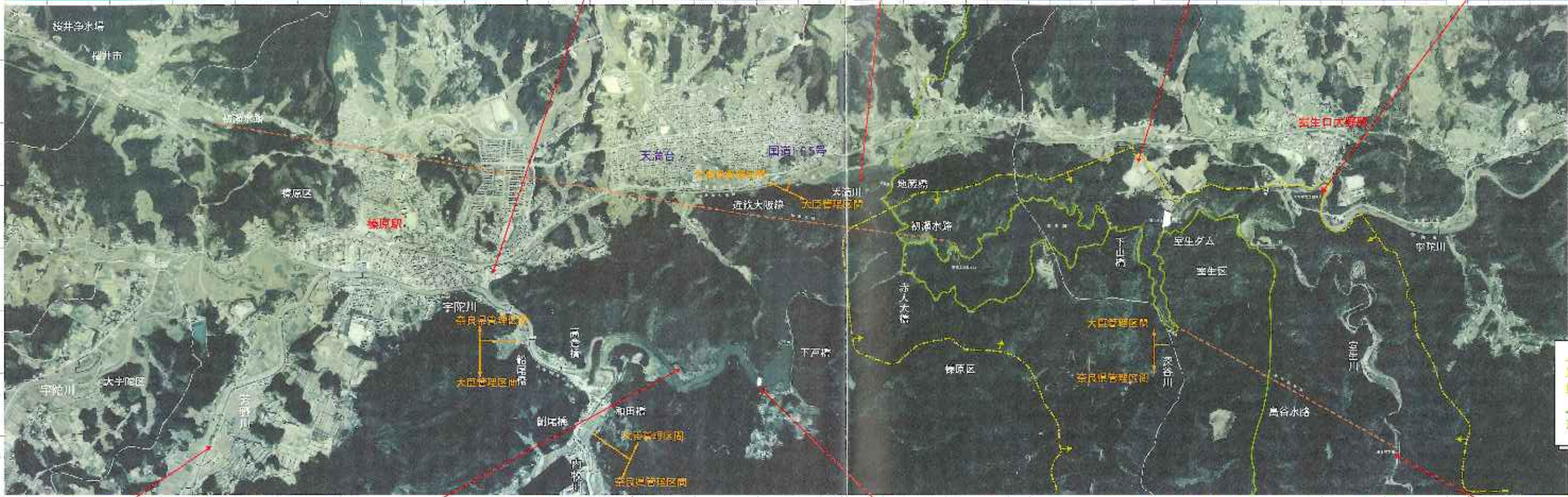
不思木の森公園(室生区)

ローラーすべり台を含むフィールドアスレチック施設が有り、子供達に親しまれています。展望台からはダム湖畔が一望できます。四季折々の花もきれいです。また、隣接する市民運動場では、野球グラウンド、テニスコート、体育館、野外ステージが有ります。



大野寺磨崖仏

役行者が築いたと伝えられる古寺。寺から宇陀川をはきんで向かい立つ弥勒磨崖仏(209年完成)。高さ約14m。石英安山岩に彫り込まれています。



平成四年四月撮影

室生赤目青山国定公園
東海自然歩道

芳野川の農業用井堰

宇陀川支川の芳野川には、農業用の井堰が37作られ、沿川の農地に水が供給されています。



平成榛原子供のもり公園(榛原区)

21世紀を担う子どもたちの健やかな成長に役立てようとする目的で造られました。区内には、中核施設に多目的ホール、研修室、水や森のことが学べる展示コーナー等があり、その他、キャンプ・バーベキュー施設やスポーツ広場、ローラーすライダー等の大型遊具が有ります。家族連れが多く訪れています。



栄養塩類のダム湖への流入によるアオコなどの富栄養化現象を抑制するために、平成13年3月に完成したダムです。このダムの機能は、栄養塩類の沈降、河川水の曝気、土砂流入防止、及び観水機能の増大です。



水質保全ダム(国土交通省)

- [水質保全ダム] 高さ：14.5m、長さ：114.0m、形式：重力式コンクリートダム
- [ゴム引布製起伏堰] 高さ：8.0m、越流長：15.0m
- [魚道] 延長：73.6m、型式：階段式魚道

鳥谷取水堰

10/1~4/30の間、室生川から最大毎秒2.0m³をこの堰から取水し、鳥谷水路により室生湖に導水します。



室生ダムへのアクセス



名阪国道針10より15分、小倉10から20分
桜井から40分
名張から30分



近鉄大阪線室生口大野駅
から徒歩20分
" バス5分 (榛原行き緑川半橋下車)
+徒歩10分
" タクシー5分



独立行政法人
水資源機構 木津川ダム総合管理所

室生ダム管理所

〒633-0315 奈良県宇陀市室生区大野3846

TEL 0745-92-2320

ホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa>

E-mail kizuso@asint.jp



この印刷物は古紙配合率100%再生紙及び環境対応型大目印刷(Sei)インクを使用しています